令和７年度

二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金

（工場・事業場における先導的な脱炭素化取組推進事業（SHIFT事業））

（省CO2型設備更新支援 A（標準事業）、B（大規模電化・燃料転換事業））

採択者説明資料（写真アルバム作成方法）

令和７年４月

一般社団法人　温室効果ガス審査協会

SHIFT

６．写真アルバム作成方法

sf07Co2

目次

6-1. 写真アルバム作成の基本事項

6-2. 設備配置図と撮影位置、方向

6-3. 写真貼付の基本パターン

6-4. 工事用黒板について

6-5. 財産シールについて

6-6. 写真アルバム（例）

6-7. 同一型番機器が複数ある場合の設備配置図（例）

6-8. 同一型番機器が複数ある場合の写真アルバム（例）

6-1. 写真アルバム作成の基本事項

写真アルバムは、工事範囲や見積書との整合などを確認するためのものです。
撤去前の既存設備の状態、撤去・更新の範囲の確認が可能なように**工事工程**にあわせて**補助対象の設備・機器毎**に適切な写真撮影を行ってください。

- **写真撮影を工事業者に行わせる場合は必ず契約締結以降に行う。**

  契約前の工事業者に写真撮影のみであっても、作業を依頼することはできません。

- **既存設備及び導入設備の配置図を作成し、撮影位置・方向を図示する。**

  配置図に記す撮影番号は、対をなす既存設備と更新設備で同じとするなどの工夫をしてください。

- **原則、整備計画書の導入予定設備一覧に記載した設備・機器全数撮影する。**

  設置場所の状況や関連機器（主要な補機・周辺機器）を含めた写真を撮影してください。

  撮影は工事工程毎（①撤去前、②撤去後、③設置前、④設置後、⑤型番銘板財産シール）にする。

- **写真には、必要事項を記載した工事用黒板(又はホワイトボード)を写し込む。**

  電子黒板の利用が可能です。

  黒板には工事名、撮影場所、設備名、設備型番、撮影日、工事工程、その他を記載してください。

※写真撮影の注意点

基本事項が適用できない場合の注意点を紹介します。

● 既存設備の撤去跡地に導入設備を据え付ける場合

②既存設備撤去後の写真と③導入設備据付前の写真が同じであれば③を省略できます。

設置場所が違う、基礎工事のやり替えがあるなど、同一写真とならない場合は省略できません。

● 既存設備を撤去せずに稼働不能状態として残置する場合

①既存設備撤去前＝稼働不能処置前、②既存設備撤去後＝稼働不能処置後です。

既存設備の設置場所から離れた位置（1枚の写真に納まらない位置）で配管切断などをした場合は、設備本体写真の他に処置が行われた部位の処置前後写真も必要です。

● 工事完了後に撮影困難となる位置に型番銘板や財産シールがある場合

据付順を考慮した写真撮影を工事工程に組み込んでおき、忘れずに撮影してください。

● 空調室内機・ショーケースで同一型番機器が複数ある場合

空調室内機およびショーケースにおいて、同一型番機器が複数ある場合は代表のみ撮影※※で良い。

※※の詳細は次ページで説明する。

※※代表のみ撮影の注意点

機器数が多い空調室内機やショーケースは、代表機器1台のみの撮影を認め、他の同一型番機器の撮影を省略できます。ただし、以下のことに注意してください。

● 型番毎に整理した機器リストを作成し、同一型番毎に代表機器1台を選択

選択した代表機器1台については、基本パターン通りに写真アルバムを作成してください。
代表機器以外の写真は省略できます。

● 複数台の配置状況を示す全景写真が必要

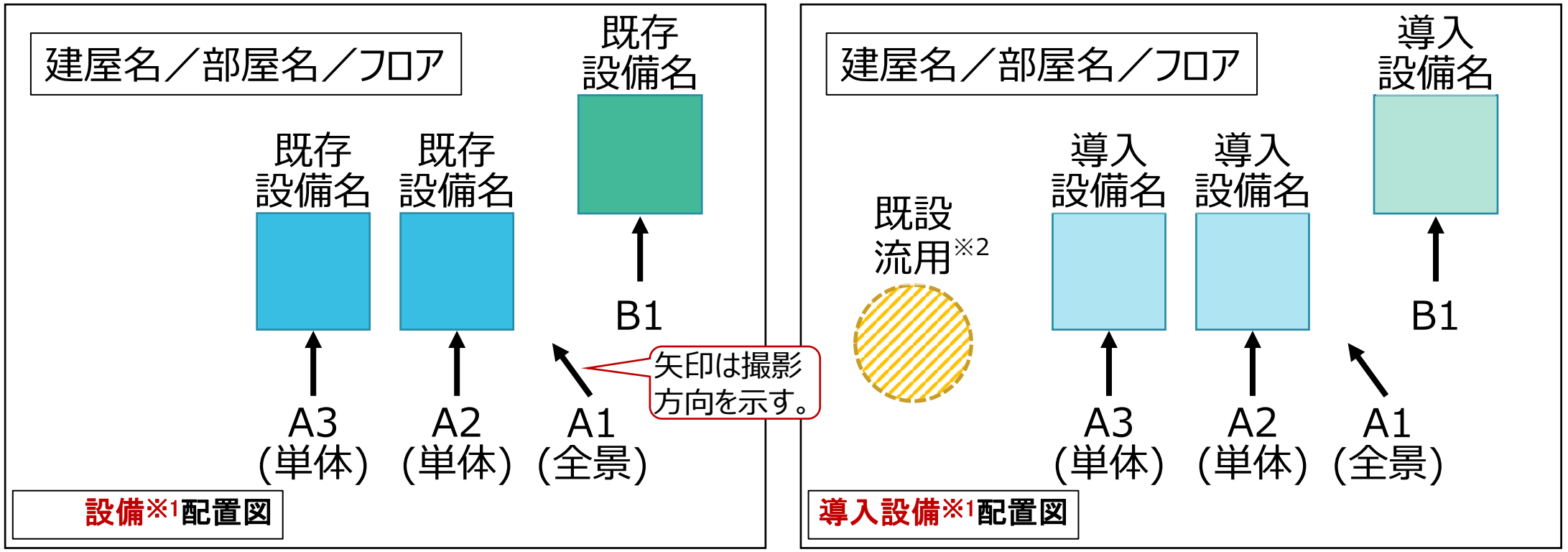
1枚の写真に納まる範囲毎（部屋毎など）に、複数台の配置状況を示すための既存設備撤去前と導入設備据付後の全景写真を撮影してください。（ホテルや病院のように1部屋に1台設置しているなど、全景写真の撮影に適さない場合は相談してください。）

● 空調室外機やコンデンシングユニットは代表機器撮影による簡略化の適用外

空調室外機や冷却・冷房機のコンデンシングユニットには、代表機器撮影による簡略化は適用されません。

6-2. 設備配置図と撮影位置、方向

配置図に記す撮影位置記号は、既存設備と更新する導入設備とで対応させる。
（撮影位置記号A1,A2,B1を、既存設備用と導入設備用で同じにするなど）



※1 既存設備用と導入設備用を分けて作成する以外に、1つの図に既存と導入を重ねて表現するのでも良い。
※2 撮影しない設備は記載しなくて良い。（記載のある配置図を利用する場合は消去しなくとも良い）

配置図のイメージ

6-3. 写真貼付の基本パターン

設備・機器毎に以下の5種類の写真が基本パターンとなります。（⑥は適宜追加）

①既存設備撤去前、　②既存設備撤去後、　③導入設備据付前、　④導入設備据付後、

⑤型番銘版＋財産シール、⑥補機を含めた外観/全景（同一型番機器が複数ある場合など）

写真１ 既存設備撤去前

撤去前の撮影は必須

撮影番号	A2-①
工事名	高効率ボイラ導入による CO2排出削減工事
撮影場所	ボイラ室A
設備名	小型貫流蒸気ボイラ
設備型番	DA－2500X6B
撮影日	令和7年10月9日
工事工程	既存設備撤去前
その他	製品乾燥用ボイラ1

写真２ 既存設備撤去後（跡地）

撤去後の写真は、更新対象範囲が判るように撮影

撮影番号	A2-②
工事名	高効率ボイラ導入による CO2排出削減工事
撮影場所	ボイラ室A
設備名	小型貫流蒸気ボイラ
設備型番	
撮影日	令和7年10月12日
工事工程	既存設備撤去後
その他	製品乾燥用ボイラ1

写真３ 導入設備据付前

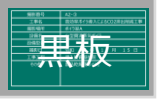
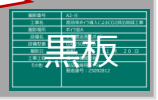


写真2と写真3が同じになる場合は写真3を省略可

撮影番号	A2-③
工事名	高効率ボイラ導入による CO2排出削減工事
撮影場所	ボイラ室A
設備名	小型貫流蒸気ボイラ
設備型番	
撮影日	令和7年11月15日
工事工程	導入設備据付前
その他	製品乾燥用ボイラ1

写真４ 導入設備据付後

黒板と説明欄の日付は一致させる



撮影番号	A2-④
工事名	高効率ボイラ導入による CO2排出削減工事
撮影場所	ボイラ室A
設備名	小型貫流蒸気ボイラ
設備型番	GA－2500J4RB
撮影日	令和7年11月20日
工事工程	導入設備据付後
その他	製品乾燥用ボイラ1 製造番号：25092812

写真５ 型番銘版＋財産シール

型番銘板、財産シール写真は黒板不要

撮影番号	A2-⑤
工事名	高効率ボイラ導入による CO2排出削減工事
撮影場所	ボイラ室A
設備名	小型貫流蒸気ボイラ
設備型番	GA－2500J4RB
撮影日	令和7年11月20日
工事工程	型番銘板、財産シール
その他	製品乾燥用ボイラ1 製造番号：25092812

写真６ 補機を含めた外観/全景

同一型番機器が複数ある場合、大物付帯機器がある場合は外観/全景写真を付ける

撮影番号	A1-⑥
工事名	高効率ボイラ導入による CO2排出削減工事
撮影場所	ボイラ室A
設備名	小型貫流蒸気ボイラ
設備型番	
撮影日	令和7年11月20日
工事工程	導入設備据付後
その他	製品乾燥用ボイラ1 全景

撮影番号	A2-④
工事名	高効率ボイラ導入による CO2排出削減工事
撮影場所	ボイラ室A
設備名	小型貫流蒸気ボイラ
設備型番	GA－2500J4RB
撮影日	令和７年１１月２０日
工事工程	導入設備据付後
その他	製品乾燥用ボイラ1 製造番号：2509812

写真説明欄のイメージ

写真アルバムのサイズはA4です。
A4 1ページ当たりの写真枚数は最大３枚とします。

sf07Co2

6-4. 工事用黒板について

文字が判読できる画質※で提出すること（電子黒板も可）

※PCのモニターで拡大表示して確認できれば良い。文字がつぶれて拡大しても判読できないものはNG。

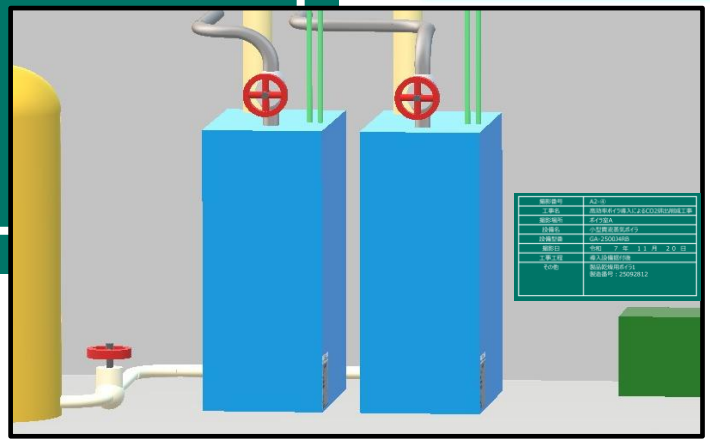
撮影番号	A2-④
工事名	高効率ボイラ導入によるCO2排出削減工事
撮影場所	ボイラ室A
設備名	小型貫流蒸気ボイラ
設備型番	GA－2500J4RB
撮影日	令和　　7　年　　11　月　　20　日
工事工程	導入設備据付後
その他	製品乾燥用ボイラ1 製造番号：25092812

撮影番号を撮影位置記号と工程番号の組合せとした例

整備計画書の導入前後図の設備名と同一名称

既存設備撤去前、既存設備撤去後、導入設備据付後等

既存設備の型番、製造番号は記載不要



6-5. 財産シールについて

■財産シールは型番銘板の近くに貼付し、1枚の写真に納まるように撮影する。

■型番銘板＋財産シール写真は判読可能な画質※で撮影する。

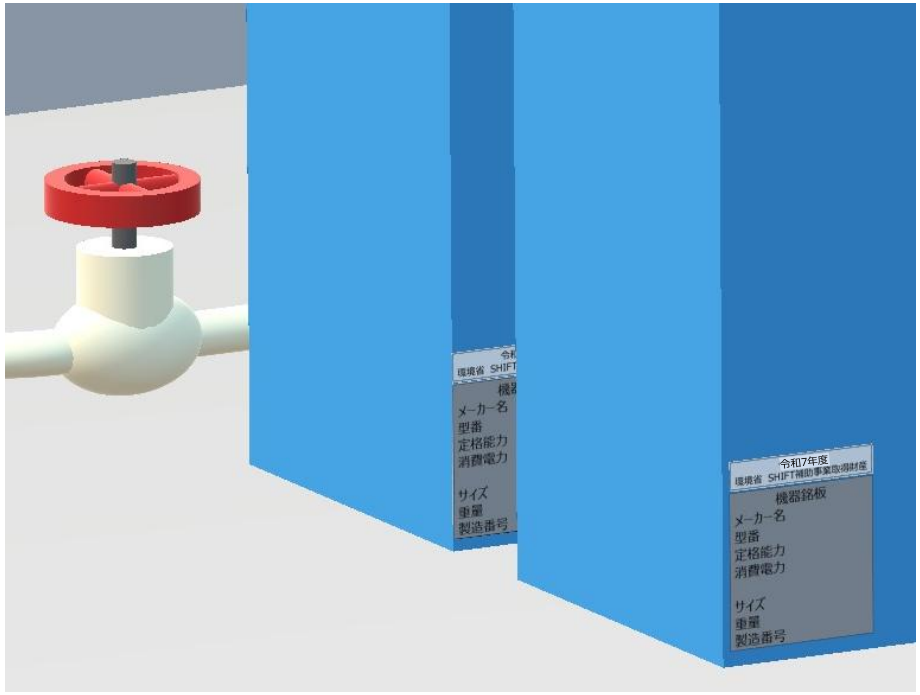
※工事用黒板同様にPCのモニターで拡大表示して確認できれば良い。
文字がつぶれて拡大しても判別できないものは認めない。

■型番銘板＋財産シールの写真撮影には、工事用黒板不要とする。

令和７年度
環境省　SHIFT補助事業取得財産

機器銘板
メーカー名
型番
定格能力
消費電力

サイズ
重量
製造番号



型番銘板＋財産シール写真のイメージ

6-6. 写真アルバム（例）

空冷ヒートポンプチラーのアルバムの例

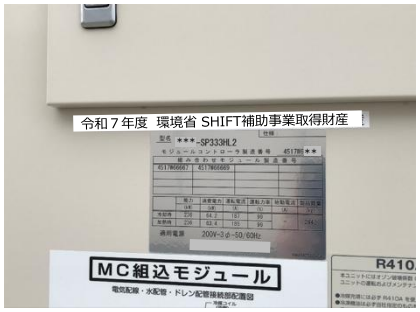
写真は主要な補機・周辺機器を含めて確認できるように撮影する。

なお、この例では撤去後と据付前が同じであるため、工事工程③導入設備据付前が省略されている。

撮影番号	C1-①
工事名	空調設備更新工事
撮影場所	屋上
設備名	空冷ヒートポンプチラー
設備型番	ー
撮影日	令和7年9月15日
工事工程	既存設備撤去前
その他	

撮影番号	C1-②
工事名	空調設備更新工事
撮影場所	屋上
設備名	空冷ヒートポンプチラー
設備型番	ー
撮影日	令和7年9月18日
工事工程	既存設備撤去後
その他	

撮影番号	C1-④
工事名	空調設備更新工事
撮影場所	屋上
設備名	空冷ヒートポンプチラー
設備型番	RUA-SP333HL2
撮影日	令和7年11月20日
工事工程	導入設備据付後
その他	



撮影番号	C1-⑤
工事名	空調設備更新工事
撮影場所	屋上
設備名	空冷ヒートポンプチラー
設備型番	***－SP333HL2
撮影日	令和7年11月20日
工事工程	型番銘板+財産シール
その他	製造番号：4517W6**

撮影番号	
工事名	
撮影場所	
設備名	
設備型番	
撮影日	
工事工程	
その他	

撮影番号	
工事名	
撮影場所	
設備名	
設備型番	
撮影日	
工事工程	
その他	

6-7. 同一型番機器が複数ある場合の設備配置図（例）

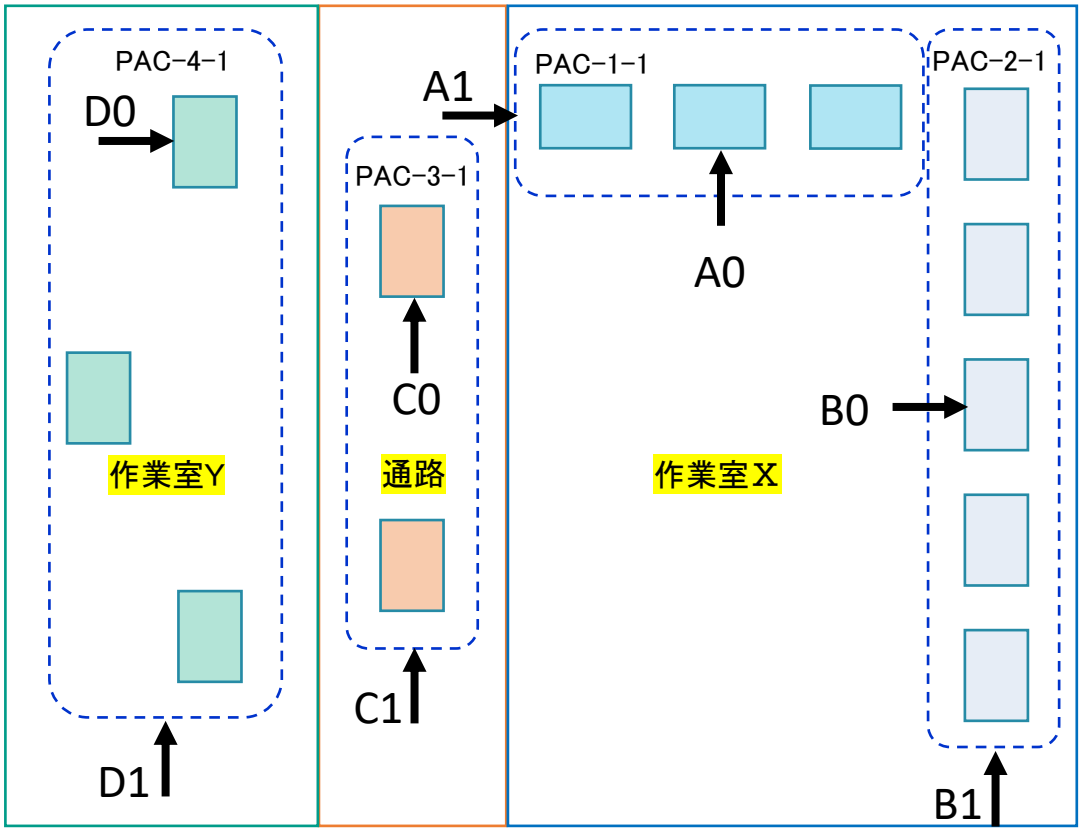
空調室内機更新における機器配置図及び撮影位置の例

機器リスト

記号	機器番号	設備名	型番	設置場所	台数
A	PAC-1-1～1-3	パッケージエアコン（ビル用マルチ）①	****-P56GMG5	作業室X	3
B	PAC-2-1～2-5	パッケージエアコン（ビル用マルチ）②	****-P28GMG5	作業室X	5
C	PAC-3-1～3-2	パッケージエアコン（ビル用マルチ）③	****-P64GMG5	通路	2
D	PAC-4-1～4-3	パッケージエアコン（ビル用マルチ）④	****-P92GMG5	作業室Y	3

・型番代表毎の写真撮影位置　：A0、B0、C0、D0
・同一型番の全景写真撮影位置：A1、B1、C1、D1

→ 撮影位置・方向



sf07Co2

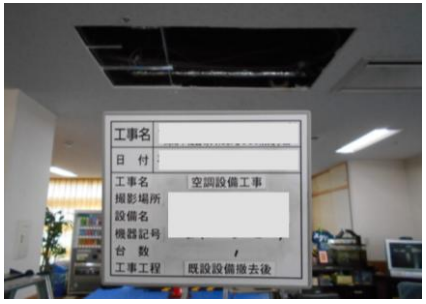
6-8. 同一型番機器が複数ある場合の写真アルバム（例）

空調室内機更新における、型番代表のアルバムの例

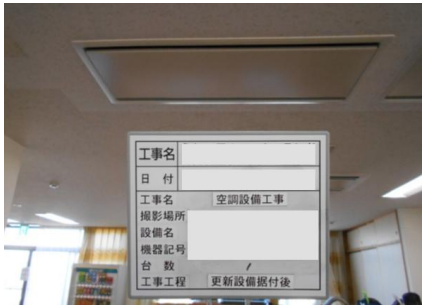
型番代表について４種類(基本パターンでは5種類だが例では撤去後と据付前が同じであるため)の写真を整備すること

①既存設備撤去前　②既存設備撤去後　④導入設備据付後　⑤型番銘板＋財産シール

撮影番号	A0-①
工事名	空調設備工事
撮影場所	1F作業室X
設備名	既設エアコン室内機
設備型番	－
撮影日	令和7年11月20日
工事工程	既存設備撤去前
その他	



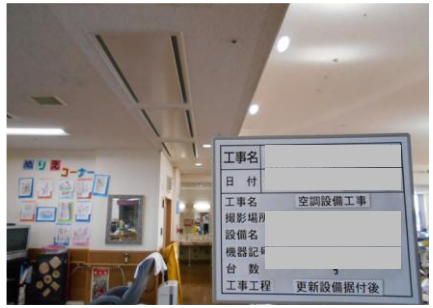
撮影番号	A0-②
工事名	空調設備工事
撮影場所	1F作業室X
設備名	既設エアコン室内機
設備型番	－
撮影日	令和7年11月29日
工事工程	既存設備撤去後
その他	



撮影番号	A0-④
工事名	空調設備工事
撮影場所	1F作業室X
設備名	パッケージエアコン①室内機
設備型番	－
撮影日	令和7年12月5日
工事工程	導入設備据付後
その他	ビル用マルチエアコン

撮影番号	A0-⑤
工事名	空調設備工事
撮影場所	1F作業室X
設備名	パッケージエアコン①室内機
設備型番	****-P56GMG5
撮影日	令和7年12月5日
工事工程	型番銘板+財産シール
その他	ビル用マルチエアコン 製造番号：8XW09999

撮影番号	A1-⑥-1
工事名	空調設備工事
撮影場所	1F作業室X
設備名	パッケージエアコン室内機
設備型番	－
撮影日	令和7年11月20日
工事工程	既存設備撤去前
その他	全景 室内機3台



撮影番号	A1-⑥-2
工事名	空調設備工事
撮影場所	1F作業室X
設備名	パッケージエアコン室内機
設備型番	****-P56GMG5
撮影日	令和7年12月5日
工事工程	導入設備据付後
その他	全景 室内機3台

sf07Co2